

溶融亜鉛メッキ鋼板製造設備(CGL)を広畑に新設

新日鉄はこのたび自動車・電機・建材等の薄板表面処理鋼板分野における需要家対応力の向上を図るため、広畑製鉄所

への溶融亜鉛メッキ鋼板製造設備(CGL)の新設投資を決定した。投資額は約120億円程度となる見込み。

- ・能力：約3万トン/月
- ・サイズ：板厚 0.4~3.2ミリ、板幅 700~1,700ミリ
- ・稼働時期：平成18年下期予定

三村社長、宝鋼新日鉄自動車鋼板有限公司を訪問

4月8日、三村社長は宝鋼新日鉄自動車鋼板有限公司(Baosteel-NSC/Arcelor Automotive Steel Sheets Co., Ltd. 略称“BNA”上海市宝山区)を訪問し、工場視察、幹部との会談、新日鉄派遣者への激励を行った。上海でのHISI開催の機会をとらえたもの。

席上、三村社長は計画を上回る立ち上げを高く評価するとともに、安定した造り込み技術とトラブルに対処できる現場力を速やかに確立した上で、需要家対応力を身につけ、自動車用鋼板の安定量産を早期に実現するよう、BNA幹部へ求めた。

BNAは、急成長が続く中国の自動車産業に対し高級鋼板を提供することを目的に昨年設立された新日鉄最大級の合弁会社(中国側：宝山鋼鉄50%、外資側：新日鉄38%、アルセロール12%)。最新鋭設備の建設が計画を2~3カ月前倒ししたピッチで進められ、昨年末以降、CDCM(年産170万トン)、CAPL(年産90万トン)、No.1 CGL(年産45万トン)

が相次いで営業運転を開始、残る主要設備である No.2 CGL(年産35万トン)も稼働間近の状況だ。従業員は約650名、新日鉄からは副総経以下17名が出向中。



土木向け製品で業界初のエコマークを取得

新日鉄は、「土木製品」で、鉄鋼製品で業界初のエコマーク*を取得し、低排土鋼管杭等6製品がエコマーク認定商品となった。

今後、国が実施するグリーン購入法における特定調達品目との連動や自治体の実施する工事においてエコマーク商品の採用が進むと予測されるため、認定商品の販売伸長や企業イメージアップが期待できる。

*エコマーク制度：(財)日本環境協会が、環境省の指導のもと平成元年から、環境負荷が少なく環境保全に役立つと認められた商品を認定。「エコマーク」を付けることで、環境から見た商品の情報を提供し、商品の選択という点から環境にやさしい社会の実現を目指すことを目的に実施され、2005年3月現在、印刷用紙等42商品類型で5,007商品が認定されている。

今回、企業活動における環境法規・公害防止協定の遵守、鉄鋼製造段階における廃棄物発生量・新規資源投入量・エネルギー消費量・二酸化炭素排出量への配慮が評価された上で、個別商品のライフサイクル全体での環境負荷低減効果が評価され、認定されたもの。新日鉄では、今後も建設分野で環境負荷低減に貢献する新たな商品を提供していく。

認定された6商品と環境負荷低減効果は以下の通り。

- 透水性鋼矢板(地下水循環を可能とする)
- 鋼管杭を中掘り圧入するTN工法向け鋼管杭
- 鋼管ソイルセメント杭の一つであるガンテツパイル杭を回転圧入するNSエコパイル(共に、排土が少ない鋼管杭)
- 鋼矢板セグメントダム(現地発生土砂・礫を中詰材として利用)
- 鋼製スリットダムA型(河川を分断しない堰堤)



経済同友会で三村社長が地方行財政改革委員会委員長として提言

4月18日、(社)経済同友会は、地方財政改革に関する政策提言を公表した。

この提言は三村社長が委員長を務めた「地方行財政改革委員会」がまとめたもので、「三位一体改革」と呼ばれた地方財政問題について、産業界から意見するもの。

わが国の公的部門の債務は700兆円を超え、財政破綻と呼ぶべき状況に陥っているが、毎年100兆円にも及ぶ地方自治体の支出は削減が進まず、財政悪化は止まっていない。

こうした現状に対し、提言は「国が地方に際限なく財政支援を行

う地方交付税制度の改革が必要」「但し、制度議論に時間を費やすことなく、国は直ちに交付税額の削減に着手し、2010年度までに地方財政を正常化すべき」と訴えた。さらに「厳しい合理化を乗り越えてきた民間企業と比較して、地方自治体には相当の効率化余地があるはずで、努力を期待する」と結んだ。



「堺浜」愛称が決定

昨年末、堺北エリア開発整備協議会は堺第二区遊休地(新日鉄+大阪ガス277ha)の愛称を公募したが、4月14日、協議会の愛称募集決定委員会(委員長：大阪市立大学橋爪助教)により応募総数5,515件の中から、「堺浜」が選定された。

臨海であるという地域性、読みやすさ覚えやすさといった機能性、および流行に左右されない等の観点から選ばれた。

現在「堺浜」では、商業アミューズ施設の基盤整備が進められ、来年春には施設開業の見通し。LRT(*)の実験線の建設も進み、

今後の賑わいを予感させている。

4月29日、同協議会は堺浜先端の海とのふれあい広場にて、愛称決定記念として、広場に訪れた市民の皆さんが「堺浜」をかたどった花畑に花苗を植えるイベントを催し、市民に「堺浜」をアピールした。

*低床式路面電車



釜石・線材生産新記録を達成

釜石・線材工場は、昨年10月から今年3月までの期間「TM330キャンペーン」を展開し、このたび、目標の平成16年度下期トータル生産量33万トンを完

全無災害で達成した。今回の新記録について、大津芳久線材工場長は「今回の活動は、高い目標を掲げて一丸となって取り組んだ結果であり、誇るべき成果。

この成果をさらなる製造実力向上に活かしていきたい」と決意を述べた。

同所は、高生産が続く中でさらなるスループットマックスへ

の挑戦を展開しており、引き続き安全第一を基本に据え、さらなる釜石の収益基盤強化に向け果敢に挑戦していく。

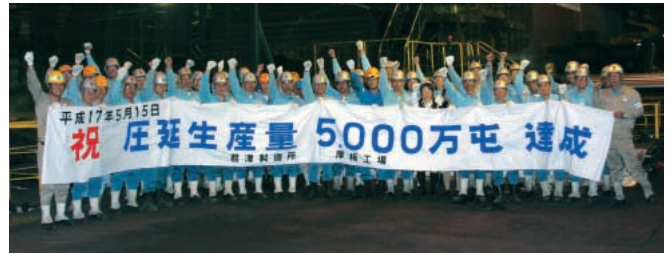
国内初 君津・厚板工場累計圧延量5,000万トン達成

君津・厚板工場は、5月15日累計圧延量5,000万トンを達成した。工場稼働開始（昭和43年3月）以来37年間で到達したもので、国内の厚板ミルの中でも5,000万トンに到達したのは初めて。

国内の高度経済成長で、造船一般材を中心に高生産が続いた後、昭和58年CLC（制御冷却）設備立ち上げ以降の低生産時代を、原子力用鋼板、海洋構造物用鋼

板、ラインパイプ用素材などの高級難製造物件の商品開発・プロパー化で乗り切り、近年は中国の経済成長に支えられた高需要に対応して、高品質産産ミルとしてその役割を果たしている。

足元、厚板市場は、需給タイトな状況が引き続き継続し、高級品種のニーズが特に高まることが予想されている。君津厚板工場では、今後も、さらなる製



造実力向上を図り、汎用品、高級品において、高い生産性が維持できる世界一の厚板ミル実現を目指していく。

日鉄物流(株)「ラック便」事業を中京地区にも拡大

日鉄物流(株)は、昨年10月より重量物の宅配便「ラック便」を開東・関西間で運行していたが、新たに5月から中京地区でのサービスも開始した。従来同様、大小2タイプのラックに貨物を積載し、小型車で集荷・配達を行い、大型車で基地間輸送を行う。幹線車は、関東・中京・関

西の各基地間を毎日運行し、オーダーを受けた翌日に納入先に配送する。

鋼材加工品などの重量物をはじめ、木材合板、建築資材、機械部品など多種多様な貨物を輸送する「ラック便」は、リピート荷主が7割を超える等、優れた輸送サービスと利便性が評価さ

れている。

中京地区への事業拡大は、荷主からの要望に応じて実施するもの。同社は、新規荷主のさらなる開拓、事業規模の拡大、基盤強化を図る方針だ。京都議定書の発効により、物流業界に対しても、従来以上にCO₂排出量の削減が求められる中、複数社の

貨物積み合わせ輸送により、トラック台数を大幅に削減できる「ラック便」は、国土交通省をはじめ、関係者からも注目を集めている。

お問い合わせ先
日鉄物流(株) 営業部
TEL 03-3553-5062

日経BP広告賞 最優秀広告賞を受賞

新日鉄ソリューションズ(株)は、2005年(第11回)日経BP広告賞(*)の最優秀広告賞を受賞した。今回は、昨年1年間に日経BP社が発行する雑誌に掲載された広告を対象に、審査委員会(委員長:亀井昭宏早稲田大学教授)が、合計1,351点の作品の中から最優秀広告賞をはじめ各賞を選出した。

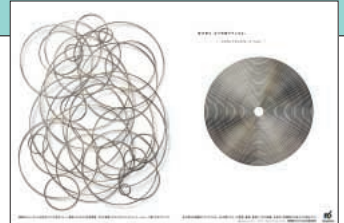
新日鉄ソリューションズ(株)の広告は、幾何学模様を巧みに使ったシンプルではあるが非常に印象的な表現で、「質の上でも表現アイデアの上でも突出していた存在であった」ということで受賞した。

贈賞式では、同社鈴木 繁社長が表彰を受け、受賞広告主を代表してスピーチを行った。

日経BP広告賞 贈賞式



4月20日の贈賞式(ホテルニューオータニにて)



*日経ビジネスや日経コンピュータ等の専門誌35誌を発行する日経BP社(社長:大輝精一)が専門情報分野の広告の発展に寄与することを目的に設けたもの。

(株)新日鉄都市開発が老朽マンション建替え事業への取り組みを強化

(株)新日鉄都市開発は、これまで取り組んだ再開発系事業の実績を通じて培ったノウハウを活用し、今後、老朽マンションの建替え事業を強化する。

現在、全国の築30年超のマンションストックは約50万戸で2010年には100万戸規模に倍増する見込みであり、老朽マンションの増加により、居住環境の悪化や耐震・

防災面における都市問題が深刻化することが懸念されている。同社は、全国初の純住宅系マンションの建替え事業として注目された『上目黒小川坂ハイツ』(昭和61年度日経優秀製品賞受賞)や、「まちづくり功労者」として建設大臣表彰を受けた『ヴィルクレール二子多摩川』を含め、これまで5件の建替え事業を成功させている。

現在同社は、マンション建替え円滑化法に基づき、権利者と共同で都内で3件のマンションについて建替え事業を推進中である。このうち『金王高桑ビル』(東京都渋谷区)は、築後48年を経過した

ビル(地上11階地下1階建、住宅戸数81戸+店舗・事務所)を、地上17階地下1階建、住宅戸数128戸+店舗に建て替えるもの。本年6月、マンション建替円滑化法に基づく建替組合設立申請予定。

お問い合わせ先
株新日鉄都市開発 住宅事業部 マンション建替推進グループ
TEL 03-3276-8125 <http://www.nscp-net.com/>

紀尾井ホール 6月主催・共催公演情報から

<http://www.kioi-hall.or.jp>



小ホール

2日 紀尾井ホール10周年記念特別公演

アルバン・ベルク四重奏団

曲目: シューベルト 弦楽四重奏曲第12番ハ短調D.703「四重奏断章」

弦楽四重奏曲第14番ニ短調D.810「死と乙女」

ベルク 抒情組曲

5日 シリーズ「歌」~こころと響きあうとき~Vol.5

“リズム!リズム!リズム!”~音楽の息づかいを表現するアーティストたち~

出演: クリヤ・マコト(プロデュース、アレンジ、P)、coba(アコーディオン)

熊谷和徳(タップダンス)、鈴木ほか(ヴォーカル)、納浩一(ベース)

萱谷亮一(Perc)

曲目: ガーシュイン「ガールクレイジー」より“I Got Rhythm”

ボンファ 黒いオルフェ ほか

30日 紀尾井ホール10周年記念特別公演【邦楽】

日本の伝統音楽シリーズ 義太夫・常盤津

出演: 竹本住大夫、常盤津一巴大夫(浄瑠璃)

野澤錦糸、常盤津英寿(三味線) ほか

曲目: 義太夫「艶容女舞衣」三勝半七酒屋の段

常盤津「乗合船恵方萬歳」

お問い合わせ・チケットのお申し込み先:
紀尾井ホールチケットセンター TEL 03-3237-0061
受付10時~19時 日・祝休